

### 3.1 建築コスト分野の資格概要と、育成体系モデル 【ゼネコン積算部門】

#### ■ 建築コスト分野の資格概要 コンセプト: "資格取得は技術者としてのゴールではなく、スタートである"

社内役職	入社前				担当者クラス				チーフクラス				次席クラス				グループリーダークラス				マネージャークラス				定年再雇用																						
	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64
資格取得の年齢分布	建築積算士補(学生時代取得)				建築積算士																												建築コスト管理士														
資格の定義	【建築積算士補】 建築生産過程における工事費の算定並びにこれに付帯する業務に関し、基礎的知識を有するもの				【建築積算士】 1) 建築生産過程における工事費の算定並びにこれに付帯する業務に関し、高度な専門知識及び技術を有する専門家 2) 数量算出から工事費算定まで、概算を含む積算業務全般の専門家								【建築コスト管理士】 企画・構想から維持・保全、廃棄に至る建築のライフサイクル全般に亘って、コストマネジメント業務に関する高度な専門知識及び技術を有する専門家																																		
受験資格・資格試験	1) 受験資格: 認定校において「建築積算講座」の単位取得 2) 資格試験: 認定校で実施される当協会作成の問題				1) 受験資格: 試験年度の4月1日に満17歳以上であること 2) 資格試験: 一次試験(基本知識)と二次試験(積算実技・短文記述)								1) 建築積算士を取得後更新登録を1回以上行い、かつ建築関連業務を10年以上経験し、そのうち建築コスト関連業務において責任ある業務に2年以上の実務経験 2) 建築関連業務を10年以上経験し、そのうち建築コスト関連業務において責任ある業務に5年以上実務経験した者																																		
登録有効期間	有効期間: 3年。3年ごとに資格更新が必要				有効期間: 3年。3年ごとに資格更新が必要								有効期間: 5年。5年ごとに資格更新が必要																																		
求められる人材	技術					建築工事分野の数量算出、工事費算定								各フェーズに応じた工事費その他費用の算定																																	
	知識	生産プロセス概要、工事発注スキーム概要、設計図書構成、工事費構成、積算業務・実務概要、LCC・VE概要				建築生産プロセス、工事発注スキーム概要、設計図書構成、工事費構成、積算業務内容、数量積算基準、標準内訳書式、主要な市場価格、データ分析と積算チェック、施工技術概要、LCC・VE概要、環境配慮概要								建築積算士に求められる知識を包含。コスト情報収集・分析、広範囲な市場価格、発注戦略、調達戦略、フィジビリティスタディ、積算技法、施工技術・工期算定、LCC・VE及びFM・PM・CM概要、環境配慮、建築関連法規、IT活用																																	
資質・能力	【ゼネコン積算担当者に求められる能力】: ①数量算出能力、②項目選出能力、③コスト算出能力、④VE算出能力、⑤折衝・交渉能力、⑥データ分析能力、⑦試算・概算能力、⑧コストプランニング能力、⑨トータルコスト調整能力、⑩設計図書読解力、⑪施工計画立案力 ⑫工法選択立案力、⑬その他(BIM、仮設、金利、経費)																																														
	【建築積算士補に求められる能力】 積算についての基礎知識を有する				【建築積算士に求められる能力】 施工と整合した項目・数量を適切に算出できる 算出された項目・数量が適正かチェックできる 実施設計段階における内訳書の作成ができる 項目・単価を設定し、工事費用を算定できる 見積内容について熟知し質問に答えることができる 設計変更内容について説明し、折衝相手を説得することができる 折衝相手について情報を収集研究し事前準備できる 折衝中に変動する総金額を把握できる 自信を持ってコストの内容を説明できる								【建築コスト管理士(レベルⅠ)に求められる能力】 関係者とのコミュニケーションを図り、価値観を共有することができる 多少のことには動じず、相手のペースに嵌らず交渉できる 自社に有利で相手の立場も良くなるような交渉ができる デザイン、機能、グレードなどの価値(コスト)を理解してもらえる 設計のプロセスを理解し、設計者と適切なコミュニケーションがとれる								【建築コスト管理士(レベルⅡ)に求められる能力】 設計初期段階からコストマネジメント、プロジェクトマネジメントができる BIMを実用化するための課題を克服し、BIMデータを関係者で共有できる IT活用により多角的なコスト分析ができる 積算結果を活用してさまざまなコストマネジメントができる 事業収支立案のサポートができる 設備工事についての知識を有し、的確にコントロールできる																										
活動領域例					官民発注者・設計事務所・建設会社・CM会社・積算事務所・不動産鑑定会社・ハウスメーカーといった幅広い分野で活躍								1) 発注者、CM会社、設計事務所等に所属し、発注者側で建築プロジェクトに関するコストマネジメントを実施 2) 設計施工プロジェクトに関して、顧客満足と適正利益を確保するためのコストマネジメントを実施 3) 積算事務所等に所属し、建築コストのマネジメントを実施																																		
協会の教育例	社会人教育	1) PCMシリーズとして刊行された「建築コスト管理士ガイドブック」「建築積算士ガイドブック」「鉄骨工事ガイドブック」「改修工事の積算」「建築プロジェクトにおけるコストマネジメントと概算」「建築技術者のための原価管理ガイドブック」をテキストとした講習会 2) 「積算基準」「積算実技」に関する講習会 3) 初級から上級まで幅広く学べる講座として「建築積算学校」 4) 建築積算の経験のない方を対象とした「建築積算入門」講座 5) 職種別テーマを対象とした講習会 6) 現場見学会、工場見学会																																													
	CPD	1) 対象者を会員および建築コスト管理士、建築積算士として実施 2) 建築コスト管理士、建築積算士、建築積算士補を対象とした、生涯学習支援システム「若木塾」を開校																																													
	eラーニング	建築積算士及び建築積算士補の更新講習																コストマネジメントに関するeラーニング・コンテンツの開発																													

#### ■ ゼネコン積算部門の育成体系例(大手ゼネコン例)

